

日触物流株式会社

2011

RC 報告書

環境安全品質への取組み



日触物流グループ
日触物流株式会社
大光サービス株式会社
大光陸運株式会社

目次

- 1 ごあいさつ
- 2 日触物流グループの事業概要
 - 2.1 日触物流(株)会社概要/定款/組織図
 - 2.2 グループ会社概要/グループ事業概要/国内拠点
- 3 日触物流グループのコーポレート・ガバナンス
 - 3.1 企業理念/経営方針/中長期経営計画
 - 3.2 コンプライアンス体制/ガバナンス体制/危機管理体制/個人情報の保護
- 4 RC 推進活動報告
 - 4.1 RC 推進体制
 - 4.1.1 環境安全品質に関する基本方針/ RC 推進体制/中期 RC 推進活動計画(目標等)
 - 4.2 法令順守への取組み(法令順守評価:環境/化学品/国内輸送関連法令への対応)
 - 4.3 マネジメントシステムへの取組み
 - 4.3.1 第三者認証取得状況
 - 環境(ISO-14001、グリーン経営)
 - 安全(安全性優良事業所)
 - 品質(ISO-9001)
 - 4.3.2 マネジメントレビュー及び内部監査
 - 4.4 RC 査察
 - 4.5 外部コミュニケーション
 - 4.5.1 主要荷主:(株)日本触媒との連携
 - 4.5.2 その他の取組み
- 5 環境活動報告
 - 5.1 環境方針
 - 5.2 環境目標と成果
目的・目標/CO2 排出量原単位削減/モーダルシフト化/環境災害事故・トラブル
 - 5.3 地球温暖化防止への取組み
 - 5.3.1 環境に配慮した輸送
 - モーダルシフトの推進/エコドライブの推進/輸送効率化/エコタイヤ導入
 - 低公害車導入/NOx・PM 法、条例への対応
 - 5.4 資源循環の促進
- 6 安全活動報告
 - 6.1 安全目標と成果
目的・目標/労働安全衛生・保安防災・化学品安全活動の実績
 - 6.2 労働安全衛生への取組み
 - 労働安全
 - 輸送安全
 - 化学品安全
- 7 品質活動報告
 - 7.1 品質方針
 - 7.2 目的・目標と成果
2010 年度の品質活動実績
 - 7.3 物流品質向上への取組み
- 8 働きやすい職場、豊かな地域社会の創造
 - 8.1 ダイバーシティ(健康管理/福利厚生制度/シニアの雇用/ワークライフバランス)
 - 8.2 地域への貢献

1 ごあいさつ

2011年5月吉日

日触物流株式会社
代表取締役社長 北野正雄

初めに、3月11日の東北関東大震災により被災された皆さま、ご家族、並びにご関係者の皆さまに、心からお見舞いを申し上げます。

今回の地震・津波の被害、原子力発電所での未曾有の災害やコンビナートにおける大規模火災が発生し、社会にも大きな影響・不安を与えています。

日触物流グループの従業員には、幸い人的被害などはありませんでしたが、当社グループに関しても、大震災に伴う道路網、鉄道網、及び通信網の切断、各拠点や港の機能損失、加えて通行規制や電力・燃料不足による各種制限・制約が発生し、全社対策本部を立上げ輸送の再開に向けて取り組みました。これらのことから、物流という当社グループの基盤・機能が社会的にも重要であることを再認識いたしました。

安全・品質の確保、法順守は大前提として、原因を問わず災害事故や品質問題を一度起こせば、今まで築いてきた社会からの信頼が一瞬にして損なわれ、取り戻すのは容易ではありません。当社グループにおいては、日常の物流活動における輸送途上災害など不測の事態への備えは勿論のこと、地震・火災への安全対策・想定訓練の再確認が必要と考えております。

日触物流グループ(以下、当社グループという)は、環境・安全・品質に積極的に取り組むことで、今まで築きあげてきた社会的信用を維持・向上すべく最善の努力をしていきたいと思います。

以下に当社グループの中期経営計画とRC活動の骨子を述べるとともに、次頁以下に当社グループのRC活動の一端についてご紹介しています。

当社グループの考え方や取り組みについてご理解を深めていただくとともに、一層のご支援と忌憚のないご意見を賜れば幸いに存じます。

日触物流グループの中期経営計画

2010年4月1日から、新たな当社グループの中期経営計画(2010～2015年度)をスタートし、2015年のあるべき姿を、「顧客満足を第一とし、質の高い物流サービスを提供できている化学品物流会社グループ」として、以下をその到達目標としています。

- ・国内・国際物流において、最適な物流企画を提案・実施している。
- ・日本触媒グループの事業戦略実現に向け、物流サービスにおいて的確な対応ができています。
- ・安全・品質を確保し、環境に配慮した物流サービスを実施している。
- ・活力あふれた組織、従業員が生き生きと働く職場になっている。

日触物流グループのRC推進活動

上述の中期経営計画に合わせ、2010年度から第7次中期RC推進活動計画を新しくスタートし、今年度が2年目になります。前中期計画に引続き、環境、労働安全、保安防災、化学品安全、物流品質の5項目に沿って展開し、2010年度のRC推進活動における目標の達成状況などは、以下が挙げられます。

- ・環境の目標(CO2排出量原単位及び環境災害事故)は、計画通り達成しました。
- ・労働安全の目標(労災)は、労災(不休)が2件発生し、未達でした。また、RC査察(「労働安全衛生/運輸安全の体制・取組み」の確認)において「個々の活動は実施されているがPDCAを回すことが不十分」という指摘がありました。
- ・保安防災の目標(車両設備災害事故)は、計画通り達成しました。しかし、車両付帯設備(ポンプ、底弁等)のトラブルが多発したことにより、保全の現状把握・自主点検の強化など、共栄社も含めた管理体制・点検基準設定に向けて設備保全プロジェクトチームを立上げ、対処を進めています。
- ・化学品輸送/取扱い上の問題の未然防止については、計画通り達成しました。
- ・物流品質の目標(重大クレーム、納入時トラブル)は、重大クレーム(1件)、納入時トラブル(15件)発生し、未達でした。個々のトラブルに対する適正な是正処置(再発防止)に取り組むとともに、初期管理、委託管理の充実・運用を図ってきましたが、継続した努力が必要です。多発している路線便トラブルに対し、全社的なプロジェクトを立上げる予定です。
- ・昨年度に引続き、記録・証拠による法順守評価を整備し、環境・化学物質・道路交通関連法令に対応しています。

日触物流グループの事業概要

2. 1 日触物流(株) 会社概要/定款/組織図

会社概要

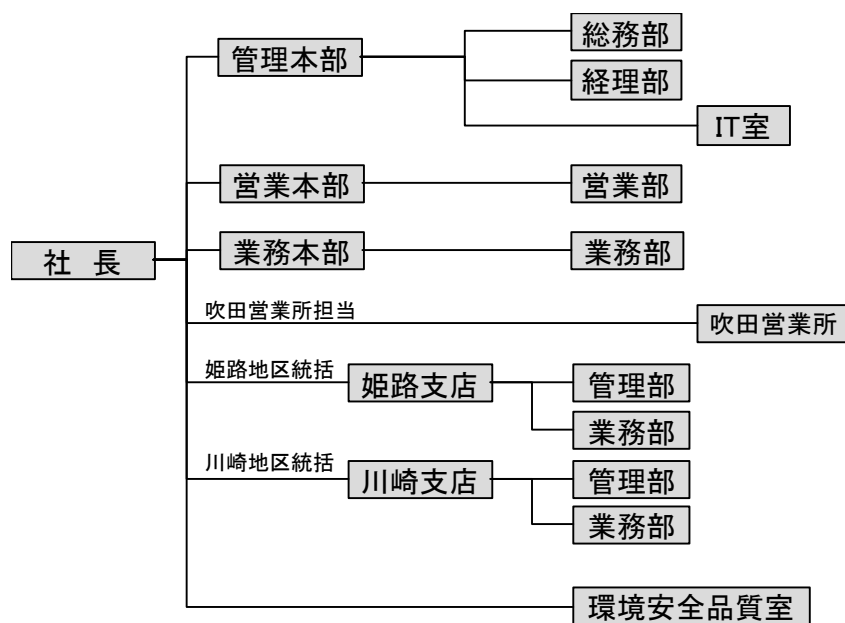
創業	1953年(昭和28年)3月20日
資本金	1億円
代表者	代表取締役社長 北野正雄
売上高	161億円(2010年度)
従業員数	183名(2011年3月31日現在)
会社所在地	
本社	大阪市中央区高麗橋4-1-1(興銀ビル6階)
東京	東京都港区西新橋1-4-14(物産ビル3階)
姫路支店	姫路市網干区興浜字西沖992-1<(株)日本触媒姫路製造所内>
川崎支店	川崎市川崎区千鳥町14-1<(株)日本触媒川崎製造所内>
	倉庫配車センター 川崎市川崎区四谷下町23-9
	追浜出張所 横須賀市夏島町2873
	日本乳化剤出張所 川崎市川崎区千鳥町1-1<日本乳化剤(株)川崎工場内>
吹田営業所	吹田市西御旅町5-8<(株)日本触媒吹田工場内>

定款

当社は次の事業を営むことを目的とする。

1. 道路貨物・海運貨物・航空貨物・鉄道貨物運送業務に係る貨物利用運送事業
2. 倉庫業及び倉庫管理業務
3. 通関業
4. 各種機械装置の運転・保全・管理運営等の支援業務
5. 入出庫業務、梱包業務ならびに配送業務の請負
6. 内航運送代理店業務
7. 不動産の賃貸業務
8. 産業廃棄物の収集・運搬業務
9. 損害保険代理店業務
10. 前各号に付帯する一切の業務

組織図



2. 2 グループ会社概要、グループ事業概要、国内拠点

大光サービス(株)

創業 2003年(平成15年)6月2日
 資本金 500万円
 代表者 代表取締役社長 小西宜則
 売上高 23億円(2010年度)
 従業員数 106名(2011年3月31日現在)

営業種目

1. 化学工場内の各種機械装置の運転、保全、管理運営等の製造支援業務
2. 化学工場内の出入庫業務、梱包業務並びに配送業務の請負
3. 倉庫業務
4. 内航運送代理店業務
5. 前各号に付帯する一切の業務

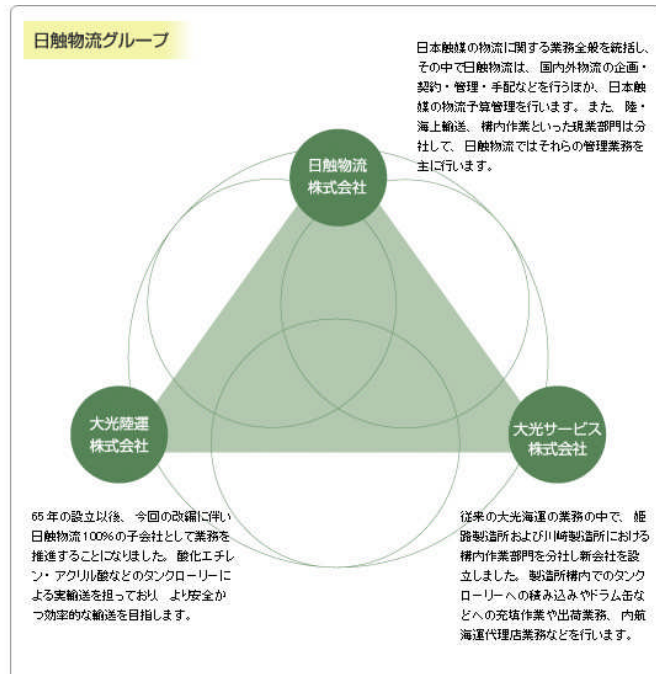
大光陸運(株)

創業 1964年(昭和39年)5月26日
 資本金 3100万円
 代表者 代表取締役社長 丸山一幸
 売上高 12億円(2010年度)
 従業員数 54名(2011年3月31日現在)

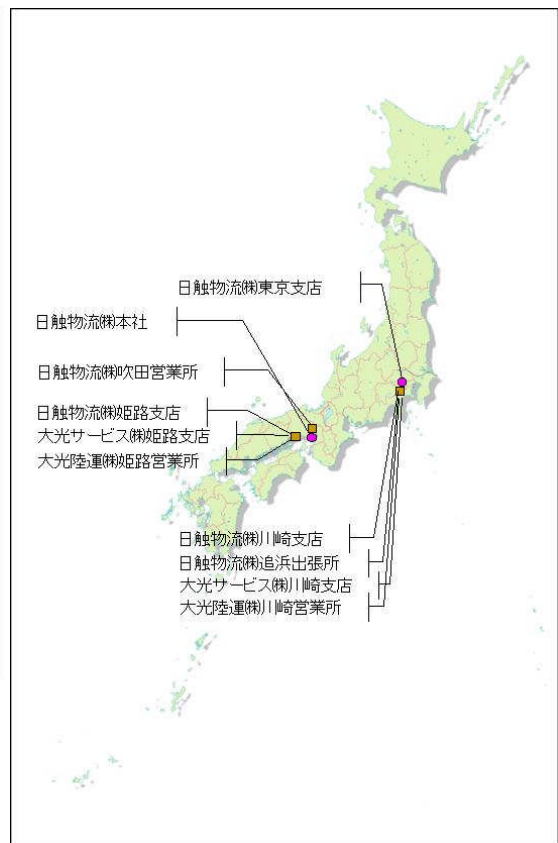
営業種目

1. 貨物運送事業
2. 利用運送事業
3. 産業廃棄物の収集・運搬
4. 前各号に付帯する一切の業務

グループ事業概要



国内拠点



3 日触物流グループのコーポレート・ガバナンス

3.1 企業理念/経営方針/中長期経営計画

日触物流グループでは、以下の企業理念、経営方針の下、企業活動を行っています。

企業理念

「日触物流は、お客様を第一に、常に安全・確実・迅速な物流サービスを提供し、
豊かで快適な社会の実現に貢献します。」

経営方針

<お客様の満足と信頼の獲得>

常にお客様の視点に立った物流サービスを提供し、顧客満足と信頼を獲得する物流会社を目指します。」

<環境にやさしく、資源の有効活用の創造>

地球環境保全に努めることは私たち人類が果たすべき重要課題と捉え、全社員一人ひとりが日々の仕事の中で、環境を大切に心と行動で環境保全に努めます。

<安全で快適な職場環境の確保>

社員一人ひとりがルールを厳守し、安全確保の「見直し」と「さらなる向上」を目標に活力あふれる快適な職場環境の構築を図ります。

<グループ会社一体となった組織力の強化>

日触物流グループが一体となった組織力の強化を図り、よりよい事業活動を拡大します。

<人材の活性化とゆとりある生活の実績>

創造力や独自性をフルに活用できる人材育成を目指し、社員一人ひとりが誇りと希望に満ちたゆとりのある生活の実現に努めます。

中長期経営計画(2010～2015 年度)

日触物流グループでは、2010～2015 年度の中長期経営計画を以下のように策定し、これに基づいた中長期的経営を進めています。

I 2015年のあるべき姿

①目標(到達点)

- ・顧客満足を第一とし、質の高い物流サービスを提供できている化学品物流会社グループ
国内・国際物流において、最適な物流企画を提案・実施している。
日本触媒グループの事業戦略実現に向けて、物流サービスにおいて的確な対応ができています。
安全・品質を確保し、環境に配慮した物流サービスを実施している。
活力あふれた組織、従業員が生き生きと働く職場になっている。

②事業ポートフォリオ

- ・物流企画・管理 新規物流スキームの構築・物流の効率化を推進している。
- ・物流部門 日本触媒各事業部・関係部署と連携して、安全輸送・最適な物流サービスを実現している。
- ・構内作業サービス部門 日本触媒各製造所と連携し、質の高い構内作業サービスを提供している。

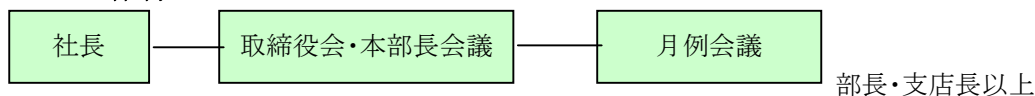
3.2 コンプライアンス体制/ガバナンス体制/危機管理体制/個人情報の保護

● コンプライアンス体制

コンプライアンスに関する基本方針	
	日触物流株式会社 代表取締役社長 北野正雄
I. 基本方針	当社は、(社)日本経済団体連合会が策定した「企業行動憲章」に賛同し、その実践を推進する。そのための企業行動指針を「コンプライアンス(法令と企業倫理の順守)の実践」と定める。
II. コンプライアンスの定義	コンプライアンスとは、「法令と企業倫理の順守」をいい、次の観点より実践する。 <法令順守> その行為は法令(国際ルール、各国法令も含む)に違反していないか。 <企業倫理> その行動は企業理念や経営方針に違反していないか。 その行為は社会(社会道徳、社会常識)に通用するか。 その行為はユーザーがどう思うか。
III. 経営の行動規範	企業行動指針「コンプライアンスの実践」を推進する前提として、経営の行動規範を次のとおり定める。 1. 安全・品質に十分配慮した物流サービスを顧客に提供する。 2. 法令を順守することは勿論、常に社会的良識にそった行動に努める。 3. 企業情報を積極的かつ公正に開示する。 4. 安全で働きやすい快適な職場環境を確保する。 5. 地球環境保全のため環境保全に努める。 6. 経営トップは、社員へ企業理念や行動規範の周知徹底と社内体制の整備を行う。 7. 本規範に反するような事態が発生したときは、経営トップ自らが問題解決にあたる。
	以上

関連社則:コンプライアンスに関する基本方針、企業倫理規程、リスク管理規程、内部統制監査規程、社内通報制度規程、情報開示規程

● ガバナンス体制



● 危機管理体制

関連社則:危機管理規程(理念、基本方針)、運送保安全管理規程(輸送途上災害、事故対策本部、緊急連絡網)

及び、荷主(㈱日本触媒)との協力体制による輸送途上災害への対応

● 個人情報の保護

関連社則:個人情報保護方針、個人情報保護規定

4 RC 推進活動報告

4.1 RC 推進体制

4.1.1 環境安全品質に関する基本方針/RC 推進体制/中期 RC 推進活動計画

環境安全品質に関する基本方針

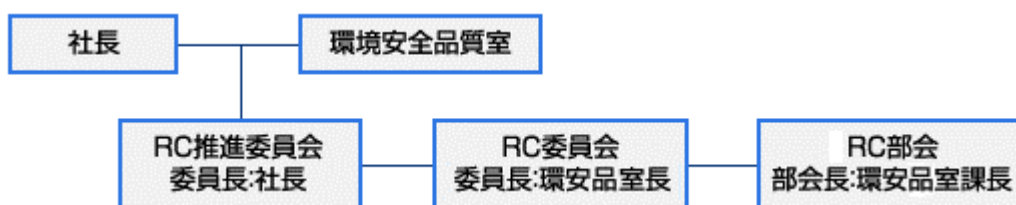
環境安全品質に関する基本方針

わが社は「“テクノアメニティを企業理念とする(株)日触物流”の物流全般を担う日触物流(株)として、豊かさと快適さをもって顧客への物流サービスを提供します。」と宣言する。わが社は、経営方針に則り環境・安全・品質に関し、下記の項目について最優先事項として取り組む。

1. 化学製品の物流全般にわたって、エネルギーの削減と環境保護に努める。
2. 無事故・無災害を目指し、従業員と社会の安全の確保に努める。
3. 取り扱う化学物質の安全性を確認し、顧客・従業員など関係する人々への健康に配慮する。
4. 顧客が満足し、信頼する質の高い物流サービスを、安定的に提供する。

わが社は、この基本方針を全ての従業員が正しく理解し、その重要性を自覚し、全ての事業活動を通じて実践していくことに努める。

● RC 推進体制



● 中期 RC 推進活動計画

RC 活動の基本である日触物流グループ 第7次中期 RC 推進活動計画を2010年度4月1日より、新しくスタートさせています。

以下に、その基本方針を記載します。

第7次中期 RC 推進活動計画の基本方針

- ① 「環境・安全・品質に関する基本方針」の会社方針のもと、各マネジメントシステムを確実に運用し、継続的改善を進めることにより労働災害、車両設備災害事故“ゼロ”を目指す。特に、現場の安全についてはリスクアセスメント活動を含め再点検の継続をする。
- ② 持続可能な発展を目指す環境負荷低減活動を推進する。特に CO2 排出量については、削減への取組みの継続をする。
- ③ 環境関連、化学品関連や運送関連規制動向に対応するため、コンプライアンスの意識向上を図るとともに、法順守評価や化学品安全に関わる管理体制を充実させる。
- ④ 顧客満足の向上と顧客ニーズへのきめ細やかな対応を志向した取組み継続をする。

第7次中期 RC 推進活動計画(2010～2012 年度)

RC 活動項目		中期 目的・目標
大分類	小分類	
環境物流	環境保全	★環境負荷の低減 ・CO2 排出量原単位 54.4 kg/千トンキロ 以下 3%削減相当(2012 年度末 対 2009 年度比) ★環境災害事故の未然防止 ・環境災害 ゼロ、環境事故 ゼロ
	労働安全衛生	★労働災害の未然防止 ・休業災害 ゼロ ・不休災害 ゼロ
	保安防災	★車両・設備災害の未然防止 ・車両設備災害 ゼロ ・車両設備事故 ゼロ
物流安全	化学品安全	★化学品輸送/取扱い上の問題の未然防止 ・化学品輸送/取扱い上の問題 ゼロ
物流品質	品質	★クレーム苦情の未然防止 ・重大クレーム ゼロ (重大クレーム; 損金 100 万円以上) ・納入時トラブル 30%削減:33 件以下(2010-2012 年度累積件数) (対 2006 - 2009 年度累積:62 件、平均 15.5 件/年→10.9 件/年)

4.2 法令順守への取組み

記録・証拠に基づいた法順守評価の仕組みを、社則「環境管理規程」の下、「法順守評価管理要領」を制定(2010/4/1)し、以下を運用しています。

環境関連法令に加え、化学物質関連法令、道路交通関連法令も、法順守一覧表を用いて記録・証拠に基づいた法順守評価(チェック)を運用しており、更に輸出入関連法令も運用開始しています(2011/4/1)。

法順守評価一覧表(環境関連)

4.3 マネジメントシステムへの取組み

4.3.1 第三者認証取得状況

第三者認証されているマネジメントシステム:

<環境>ISO-14001 :2006 年度認証取得。適用範囲として本社部門を含んだ当社グループで認証取得(2007 年度)。

グリーン経営:大光陸運(株)姫路営業所

<安全>安全性優良事業所:大光陸運(株) 姫路営業所/川崎営業所

<品質>ISO-9001 :2000 年度認証取得。適用範囲として本社部門を含んだ当社グループで認証取得(2008 年度)。

- ISO-9001、ISO-14001 の認証取得。

ISO-9001 及び ISO-14001 を、本社部門を含んだ当社グループで認証取得し、国際規格のマネジメントシステムに基づいた継続的改善と品質・環境への意識を高めています。

地球温暖化対策・環境負荷低減対策への取組みとして、モーダルシフト、輸送の効率化やトラック・タンクローリー等の燃費改善・エコドライブを推進し、地球に優しい物流に努めています。

また、「物流品質」を維持・向上し、荷主・顧客から信頼されるより良い物流会社を目指しています。

今年度、新たな部署として加わった大光サービス(株) 日本乳化剤出張所(構内作業部門)も出来るだけ早くマネジメントシステムの適用範囲に入れるべくマネジメントシステム等の整備に努めています。

4.3.2 マネジメントレビュー及び内部監査

- マネジメントレビュー

マネジメントレビューは、定期的(2回/年)に RC 推進委員会として実施し、環境・品質マネジメントシステムに応じた内容及び RC 活動状況の実績・計画などをインプット情報として報告し、アウトプットとして社長の指示・コメントを受けることで、その内容を従業員に周知し、継続的改善を進めている。

- 内部監査

環境・品質マネジメントシステム要求事項に基づいた内部監査を、定期的(1回/年)に実施し、観察点に対して是正対応または改善の記録を行うことで継続的改善にむすびつけています。

4.4 RC 査察

当社グループでは、RC 査察を定期的(年 1 回)に各事業所・本社部門に対して実施しています。

このRC査察は、事業所・本社部門の RC 活動全般及び重点テーマについて活動状況を経営者が査察し、各事業所・部門のレベルアップを図ることを目的にしており、2010 年度で 7 回目の開催となります。

社長を委員長とする RC 査察委員の指摘・コメント事項に対して、事業所・部門は改善計画を策定し、その実施を行います。これらの査察内容及び改善結果は RC 推進委員会(マネジメントレビュー)に報告されます。

過去の重点テーマは下表に示す通りで、2010 年度は「『労働安全衛生/運輸安全管理の体制・取組み』の確認」をテーマに実施しました。

物流環境	環境保全	「環境負荷低減」(2006)
物流安全	労働安全衛生	「安全管理」(2004)
	保安防災	「安全文化向上への取組みについて」(2007)
	化学品安全	「輸送途上災害に対するリスク管理、及び危機管理体制」の確認(2008) 「労働安全衛生/運輸安全管理の体制・取組み」の確認(2010)
物流品質	品質	「品質に関わる部門間の移管・引継ぎ業務の実施状況」(2005) 「初期管理、及び委託管理の体制・取組み」の確認(2009)

4.5 外部コミュニケーション

4.5.1 主要荷主(株)日本触媒との連携

主要な荷主(株)日本触媒)に対し、

- トラブル報告(週報):当社が管轄する物流に関わるトラブル を報告しています
- 改正省エネ法で要求され、特定荷主が経産省に提出する、「輸送に関わる実績・削減計画」を、当社が算出などを行い、特定荷主に提供しています
- 荷主の品質部会に、物流部門として参画(2 回/年)し、日本触媒グループとして改善に努めています
- 荷主の物流予算の立案・実績集計を、当社が行なっています
- 荷主の環境社会報告書の一部情報(物流に関わる内容)を提供しています

4.5.2 その他の取組み

- 日本ロジスティックスシステム協会(物流子会社懇話会)などで、当社グループの RC 活動を適宜発表しています。

5 環境活動報告

5.1 環境方針

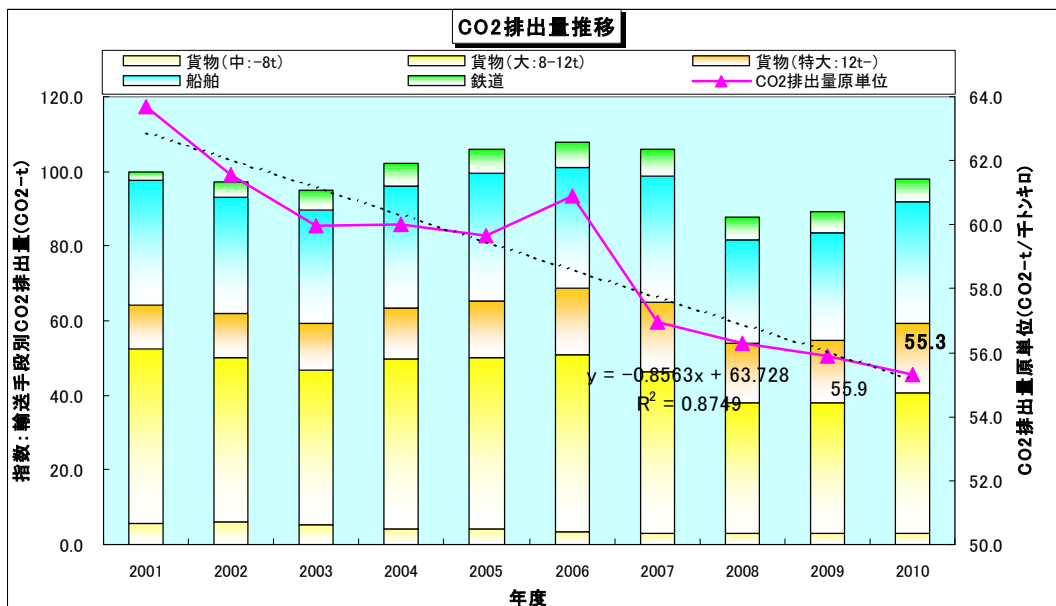
<p><環境方針></p> <p>日触物流グループは、「お客様を第一に、常に安全・確実・迅速な物流サービスを提供し、豊かで快適な社会の実現に貢献します。」を企業理念とし、株式会社 日本触媒の化学製品などの物流全般を担っています。</p> <p>「環境にやさしく、資源の有効活用の創造」等を謳う経営方針や環境・安全・品質に関する基本方針のもと、豊かな社会の実現と地域的のみならず地球的な環境に配慮し、以下のことを確実に実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 化学製品の入出荷・保管・輸送事業において、適切な管理を行い、環境汚染の予防に努めます。 2) 事業活動における省エネルギー・省資源、廃棄物・排水削減を推進します。 3) 環境関連の法規則・協定を順守します。 4) 環境方針達成の為、環境目的・目標を定め実施し、定期的に見直すことにより、計画的且つ継続的に環境マネジメントシステムの改善を推進します。 5) 環境教育・訓練等により、企業及び社員の環境意識の向上と共に関連企業にも環境方針を周知し、理解と協力の要請と交流を図ります。 <p>—この環境方針は社外にも公表します—</p>

5.2 環境目的・目標の成果

	中期 目的・目標の2010年度末実績(2011/04/26)	中期 目的・目標
環境保全	<p>★環境負荷の低減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量原単位 55.3 kg/千トンキロ 1.1%削減相当(対 2009年度比) <p>★環境災害事故の未然防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境災害 ゼロ ⇒ 0件、環境事故 ゼロ ⇒ 0件 	<p>★環境負荷の低減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量原単位 54.4 kg/千トンキロ 以下 2.7%削減相当(2012年度末 対 2009年度比) <p>★環境災害事故の未然防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境災害 ゼロ、環境事故 ゼロ

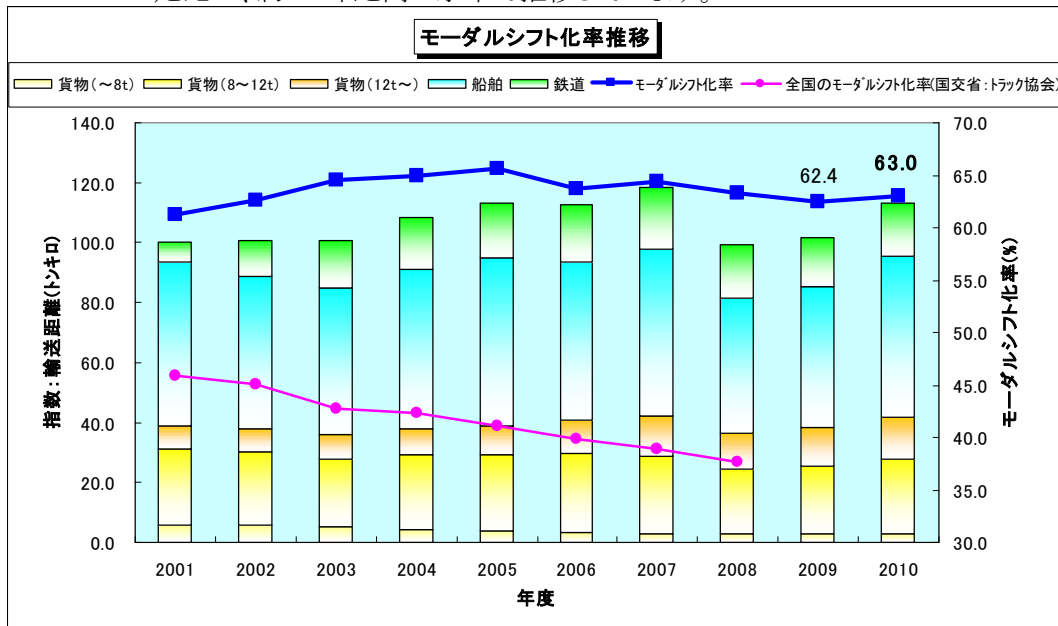
● CO2 排出量原単位削減

- 主要荷主の販売量の増加に対応した輸送量増加の結果として CO2 排出量は増加傾向にあります。が、原単位はモーダルシフト化や輸送効率化を反映して低減しています。



● モーダルシフト化

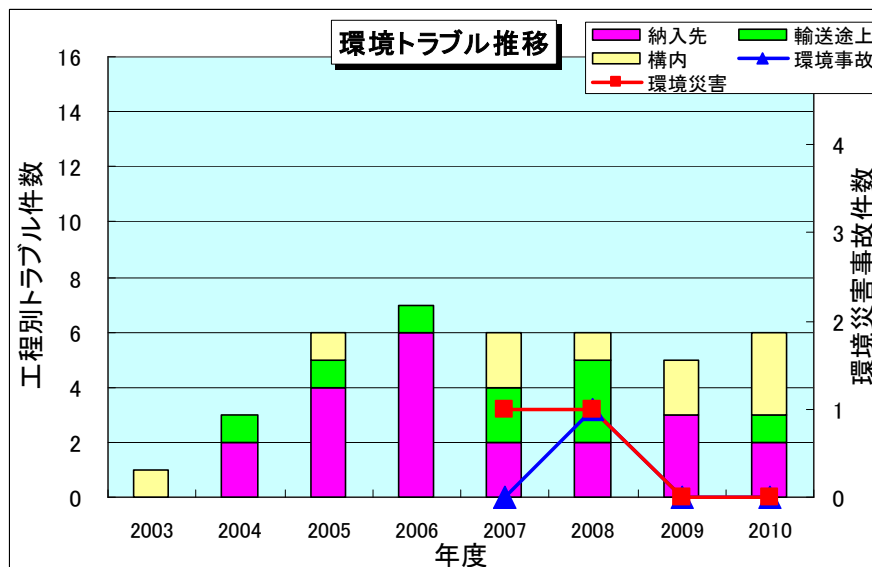
- 当社グループのモーダルシフト化率(全輸送モードのうち、鉄道・船舶輸送の割合)は全国平均(約40%)と比べ、約60%台と高い水準で推移しています。



* 増強した当社主力製品(EO)の鉄道タンクコンテナと荷役充填設備

● 環境災害事故・トラブル

- 2010年度の環境災害事故は、ゼロ件で目標を達成しています。
- 環境トラブル件数は、例年と同水準でした。



* 環境トラブルとは、環境に関わる規格要求事項などを満たしていない不具合をいい、クレーム・苦情・不適合を含む。(例えば、少量の製品や臭気漏洩など)

5.3 地球温暖化防止への取組み

5.3.1 環境に配慮した輸送

● モーダルシフトの推進/エコドライブの推進/輸送効率化/エコタイヤ導入

トラック輸送から鉄道や船舶輸送に、荷主・納入先との協力の下、計画的に切替え、CO2 排出量削減に努めています。

また、共栄会社を含むトラック輸送ではデジタルタコグラフの活用・アイドリングストップ、エコタイヤ装着など、エコドライブ活動に努め、ハード・ソフト面で燃費向上を図っています。更に、主力製品(EO)の輸送量増大に対応して、鉄道輸送可能なタンクコンテナ増強で、環境配慮と両立させています。

・デジタルタコグラフの導入

デジタルタコグラフの導入により急加減速・平均速度・最高速度等のデータを取り、点数付け評価等ができます。これによりきめ細かな部分までの情報が得られ、乗務員に対し適切な指導教育を行っています。

デジタルタコグラフの活用

- ・安全運転管理集計表
- ・最高速度一覧表
- ・目標値
- ・運行実績の揭示
- ・運転日報



- ・エコドライブの推進
- ・省エネタイヤの装着
- ・グリーン経営認証(大陸)
- ・アルコールチェッカー・テジタコの活用
- ・GPSやドライブレコーダーの導入
- ・エコドライブコンテストへの挑戦・受賞

当社グループは、従来のような長距離のトラック輸送を、できる限り鉄道便や船舶輸送に切り替えることを実践し、大幅なCO₂の削減が可能になりました。

モーダルシフト

1: トラック→鉄道

2: トラック→船舶

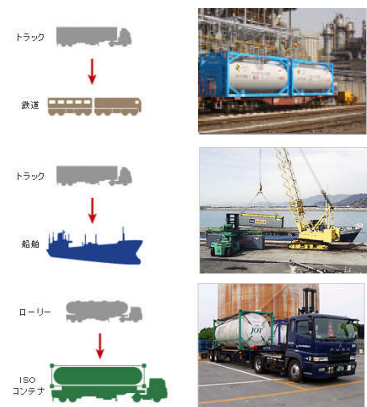
大型化・効率向上

3: ローリー→ISOコンテナ

改正省エネ法対応

特定荷主の代わりに、エネルギー消費量などの定期報告・削減計画を作成

CO2排出量原単位(2008年度上期)推移



● 低公害車導入/NOx・PM 法、条例への対応

排ガス規制に関する各自治体条例へも対応しています。

例えば、大気汚染防止策として、川崎市エコ運搬制度*1(2010/4/1 施行)に対応して、以下を進めています。

- ①エコドライブ及びエコドライブを行う旨の表示(エコドライブステッカー)
- ②NOx・PM 法の車種規制不適合車の不使用
- ③低公害・低燃費車の積極的な使用

*1:「川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例」を改正した「環境に配慮した運搬制度」



* 川崎市エコ運搬制度 適合車と使用ステッカー

5.4 資源循環の促進

- パレットを計画的に有効利用し、廃棄物量削減を図っています。
- リサイクル SUS ドラムの活用や一部フレコンバックを再利用しています。

6 安全活動報告

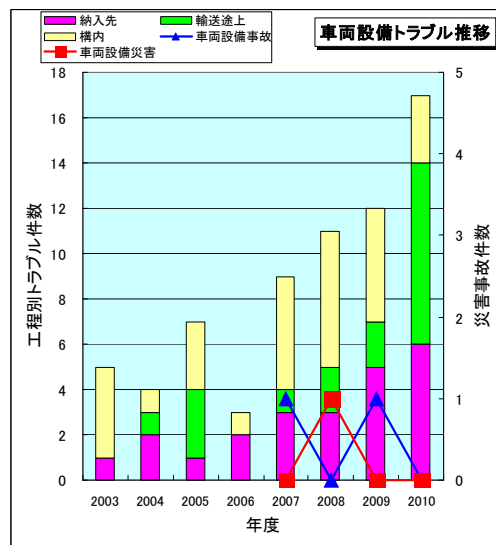
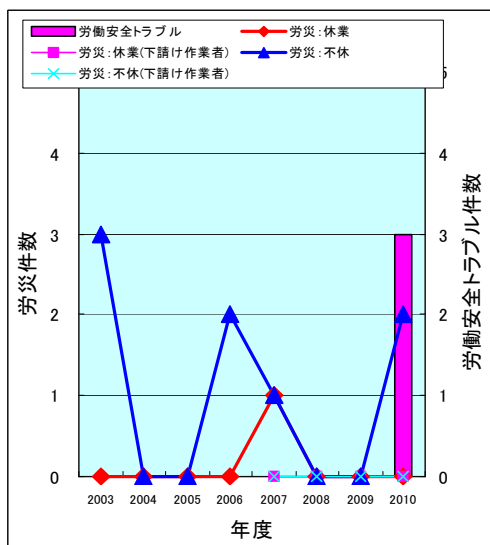
6.1 安全目的・目標と成果

	中期 目的・目標の2010年度末実績(2011/04/26)	中期 目的・目標
労働安全衛生	★労働災害の未然防止 ・休業災害 ゼロ ⇒ 0件 ・不休災害 ゼロ ⇒ 2件	★労働災害の未然防止 ・休業災害 ゼロ ・不休災害 ゼロ
保安防災	★車両・設備災害の未然防止 ・車両設備災害 ゼロ ⇒ 0件 ・車両設備事故 ゼロ ⇒ 0件	★車両・設備災害の未然防止 ・車両設備災害 ゼロ ・車両設備事故 ゼロ
化学品安全	★化学品輸送/取扱い上の問題の未然防止 ・化学品輸送/取扱い上の問題 ゼロ ⇒ 0件	★化学品輸送/取扱い上の問題の未然防止 ・化学品輸送/取扱い上の問題 ゼロ

- 2010年度労働安全衛生、保安防災、化学品安全活動の実績
 - 労災:2件(不休)で目標未達でした。
 - 車両設備災害事故:ゼロで目標を達成しています。
 - 化学品輸送/取扱い上の問題:ゼロで目標を達成しています。

以下に今年度の活動ピックアップを述べます。

- 今年度から微細な労働安全トラブルをカウントし、労災未然防止の強化を図ることとしています。
- また、設備機器の保全維持が原因と想定される故障やトラブルが多発しました。保全現状把握、自主点検の強化、及び設備管理体制の整備を目的とした保全プロジェクトを立ち上げ、体制見直し・自主点検基準を設けることを進めています。



* 車両設備トラブルとは、車両設備に関わる規格要求事項などを満たしていない不具合をいい、クレーム・苦情・不適合を含む。(例えば、微細な破損など)

6.2 労働安全衛生への取組み

- 労働安全
 - 2009年4月からリスクアセスメントを導入し、構内作業に伴うリスク評価を継続しています。
 - 危険予知(KY)活動、ヒヤリ・ハット(HH)活動、所内パトロールの継続的な実施などで未然防止を図っています。
- 輸送安全
 - 荷主: (株)日本触媒が、「輸送保安管理規則」を改定(2009/10/1)し、輸送途上災害事故に対する危機管理体制の整備を進めたことも受け、当社グループの「運送保安管理規程」を一部見直し

(2009/11/1)、事業所において荷主と協力した危機管理体制見直しに引き続き取り組んでいます。

- 車上渡し・LY 側作業等を超える納入先での荷卸し作業について、納入及び乗務員の安全・品質を確保する為、当該作業の見直しまたは作業の責任・役割分担を明確化する特約として、荷主が納入先と保安協定書を締結することを要請・促進しています。
- 国交省による運輸安全マネジメントの義務化方針及び大光陸運(株)(2営業所)への要求も強化されたことに伴い、改めて体制整備と運用を見直し(2011/4/1)、交通事故の未然防止を図る予定です。
- 大光陸運(株)の両営業所は、国交省が進める安全性優良事業所(G マーク制度:全日本トラック協会)に認定されています。
- 輸送安全の観点で、EO を輸送する全ローリー(大陸所有及び共栄会社所有)22 台に、ヂジタコは勿論、GPS を搭載しています。
- 近年、特に飲酒運転による事故が増加し、社会的問題にもなっている中、業務員の意思付け飲酒運転の未然防止のため、入社時に厳しい飲酒点検に取り組んでいます。国交省が進める「事業用自動車総合安全プラン 2009」の「飲酒運転ゼロ」目標を先取りしたアルコール検知器を使用した法順守にも、継続的に取り組んでいます。

* 国土交通省告示第 485 号(2011/4/1 施行)の適合機能に対応した検知器を使用しています



■ 化学品安全

輸送途上災害などに備えて、荷主から製品安全データシート(MSDS)・イエローカード(緊急連絡カード:日化協)などの技術情報の提供を確実に受け、共栄会社に配布等すること並びにバルク輸送時におけるイエローカードの所持や容器イエローカードの適切な貼付をしています。

また、取扱い作業員へ MSDS を活用した教育も継続して実施しています。

7 品質活動報告

7.1 品質方針

「私達は、お客様の満足を第一に考え質の高い物流サービスを提供します。」

7.2 品質目標と成果

	中期 目的・目標の2010年度末実績(2011/04/26)	中期 目的・目標
品質	★クレーム苦情の未然防止 ・重大クレーム ゼロ ⇒ 1件 (重大クレーム; 損金100万円以上) ・納入時トラブル 30%削減: 33件以下 ⇒ 15件 (対 2006-2009年度累積: 62件、平均15.5件/年→10.9件/年)	★クレーム苦情の未然防止 ・重大クレーム ゼロ (重大クレーム; 損金100万円以上) ・納入時トラブル 30%削減: 33件以下(2010-2012年度累積件数) (対 2006-2009年度累積: 62件、平均15.5件/年→10.9件/年)

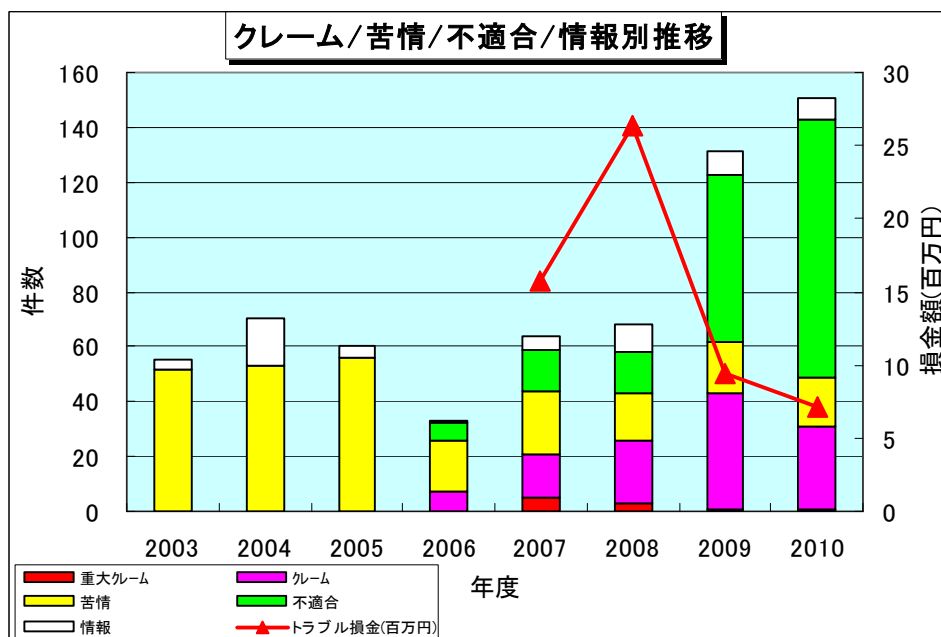
● 2010年度の品質活動の実績

- 重大クレームは、1件発生し、目標は未達でした。
- 納入時トラブルも件数は減ったものの、目標は未達に終わりました。

車両設備・環境トラブルを含めた全トラブル件数は、2009年度から増大しましたが、路線便(混載)で起こるトラブル(過半は不適合に止まり納入先等に迷惑を掛けていないもの)の顕在化を行った結果と考えています。

しかし、その内容には一歩間違えれば重大な事故・法令違反・クレームにつながる恐れがあるトラブルも何件もあり、今期もそれらの是正対策に注力する必要があると考えています。

また、路線事業者との協業による低減に向けた取組みも継続しつつ、全社で取組む路線便トラブル低減の為のプロジェクトを立上げ、様々な手法の検討も開始しています。



- * 労働災害、環境・安全上の災害事故等を含む不適合で、
- * クレームとは、製品を引渡し後に物流サービスに関する申し立てが顧客等からあり、製品返品 of 引取り・再納入等の作業、損害賠償等の支払い等に会社への金銭的損失が伴うトラブルをいう。
- * 苦情とは、会社への問題点指摘・是正処置の実施・報告等に止まり、金銭的損失が発生しないトラブルをいう。
- * 不適合とは、顧客・荷主に迷惑を掛けていない事業所内や納入前のトラブルをいう。
- * 情報とは、当社 G(管理下も含む)に責がないトラブルをいう。

7.3 物流品質向上への取組み

<初期管理>

- 荷主からの新規輸送依頼に対し、初期管理の運用を通じた組織的なリスク管理を行うことで、会社組織としてリスクを予測・削減・回避して、定常輸送になってからのトラブル未然防止を組織的に図っています。

<委託管理>

- ハンアセットの物流管理会社として、実輸送をお願いしている共栄会社、ストックポイント(SP)などに対し、委託先再評価や訪問監査などを進め、委託管理の運用を通じて指導・支援も行うことで、優良な委託先の活用や協業を進め、安全や物流品質の確保を図っています。

8 働きやすい職場、豊かな地域社会の創造

8.1 ダイバーシティー

- 社員の健康管理や衛生管理に取り組んでいます
- 嘱託員制度によるシニアの活用を図っています
- 福利厚生として「福利厚生倶楽部」を導入しており、選択可能な福利厚生を図っています
- グローバルな業務展開を視野に入れ、外国の方の採用にも門戸を開き、2011/4/1 現在、4名が就業しています。
- 育児休暇・介護休暇制度、M休制度(誕生日休暇)、半日休暇制度などを導入し、ワークライフバランスへの支援や働きやすい環境作りに努めています

8.2 地域への貢献

可能な範囲で地域への貢献を図っています。

事例:御堂筋清掃(本社)

交通安全週間の立哨(姫路)

事業所周辺美化活動(姫路)

日触物流グループは、東北地方太平洋沖地震(2011/3/11)の被災地・被災者への義援金
日本赤十字社を通じ、3百万円の支援を実施しました。(2011/3/31 付け)



「RC 報告書 2011」の編集方針

本報告書を初めて発行いたします。

編集にあたっては、様々なステークホルダーの皆様にご理解いただけるように分かり易さ、読み易さを心がけています。

当社グループのレスポンシブル・ケア活動を中心に一部 CSR への取組みを紹介しています。

報告対象

対象組織：

日触物流(株)

本社、営業本部(東京)、姫路支店、川崎支店、吹田営業所

グループ会社

大光サービス(株)、大光陸運(株)

対象期間

2010年4月1日～2011年3月31日

問い合わせ先

日触物流株式会社 環境安全品質室

〒541-0043 大阪府中央区高麗橋4-1-1 興銀ビル6F

Tel:06-6202-5262 Fax:06-6233-2475

URL:<http://www.ns-b.jp/>